

委員会活動

総務
企画
委員会

日立建機常陸那珂工場、日本原子力研究開発機構、NTT茨城研究開発センター

大強度陽子加速器施設J-PARCの整備状況などを調査

はじめに、常陸那珂工業団地に立地、平成19年9月から操業を開始した建設機械メーカー、日立建機(株)の常陸那珂工場で事業概要の説明を受け、その後、大型油圧ショベルの各種装置などの生産施設を視察しました。委員からは、北関東自動車道の整備遅延が及ぼす影響、従業員の働き方や地元及び新規雇用の状況などについて、活発な質疑がありました。会社からは、「茨城空港で貨物便が飛ぶようになれば、海外に急いで輸送する場合の利便性が高まる」との意見がありました。

次に、日本原子力研究開発機構・東海研究開発センター及びJ-PARCセンターで、大強度陽子加速器施設J-PARC※の概要説明を受け、その後、県が同施設内に設置する中性子ビーム実験装置の整備状況を含め施設全体を視察しました。委員からは、稼働中の原子炉における安全性や耐用年数の研究状況などについて、活発な質疑がありました。

最後に、東海村のNTT茨城研究開発センター跡地で、J-PARCの産業利用促進支援のため今後整備予定である産学官共同研究施設の概要説明を受け、改修前施設を視察しました。



日立建機(株)常陸那珂工場を視察

桜川市真壁中央公民館(真壁の街並み)、古河市三和庁舎

地域のまちづくりやコミュニティ活動などを調査

環境
商工
委員会

はじめに、桜川市真壁中央公民館において、真壁のまちづくりについて説明を受けた後に、真壁の街並みを視察しました。当地域では、地元の観光資源である古い街並みを活かしたまちづくりや、真壁のひなまつり、商店街における花いっぱい運動など、観光客へのおもてなしによる地域の活性化や観光地域づくりの取り組みが、地域の人々により主体的に行われています。こうした取り組みが評価され、日本観光協会が主催する「優秀観光地づくり賞」の金賞総務大臣賞を受賞しました。委員からは、まちづくりの将来的な構想、商工会女性部や青年部の活動内容などについて質疑がありました。市や関係団体からは、まちづくりにあたって同じ考えを持つ人を集めることが大事であり横の連携を取りながら活動を続けていきたいとの説明がありました。



真壁の街並みを視察

次に、古河市三和庁舎において、古河市三和地区のコミュニティ活動について説明を受けました。当地区では、早くから住民の自主運営による地域コミュニティづくりが行われ、現在では6つの小学校区全てにコミュニティ団体が設立され、三世代交流事業や環境美化運動、防災訓練、防犯パトロールなど地域独自の活動が行われています。委員からは、コミュニティの加入促進活動や事業のリーダー育成などについて活発な質疑がありました。

保健
福祉
委員会

老人福祉施設シルトピア、児童養護施設窓愛園、障害者支援施設ほびき園

訪問施設の活動状況などを調査

はじめに、老人福祉施設シルトピアにおいて、介護を取り巻く現状や課題について意見交換を行うとともに、風や光を感じ、緑と触れ合いながら、利用者がイベントなどを楽しむための大ホール、全室個室のユニット型の居室などの施設やデイサービスの活動状況などを視察しました。

次に、児童養護施設窓愛園において、子どもたち同士でさまざまなことを学び、自立した社会人として育てていく方針のもと家庭的な雰囲気とハウスの機能を合わせもった施設内で、子どもたちが快適に安心できる生活を過ごすための取り組みについて説明を受けました。また、子どもたちの教育方針などについて施設側と意見交換を行いました。

最後に、障害者支援施設ほびき園において、働く意欲や作業能力がありながら就労が難しい利用者の自立に向けた支援や社会参加を促すための取り組みの説明を受けるとともに、職業訓練施設や農作物の栽培に取り組んでいる農場などを視察しました。



老人福祉施設シルトピアを視察